１　課題を整理（右ページ上段）

昨年の県大会発表に向けたアンケートや分科会の協議により、市町村間での違いが浮き彫りになりました。

民児協内で他の委員から「主任児童委員のことがわからない」「子どものことは主任児童委員に任せておけばいい」といった声を耳にした経験がある方もおりました。

会長方は理解していても、委員間では未だに誤解が残っており、先輩委員の影響を受けているケースもあります。

また、定例会の時間帯などの問題で情報共有が難しく、対応の違いが行政や市町村によっても生じています。

これらの実態を踏まえ、各会長の理解を得て地区会議で検討を進める必要性を強く感じました。

２　目指すべき方向（右ページ下段）

こどもまんなか社会の実現を目指し、子ども一人ひとりが希望に満ちた未来を築けるような支援体制を目指して、民生委員・児童委員と主任児童委員が緊密に連携し情報を共有することが不可欠です。

具体的には、民生委員・児童委員と主任児童委員が定例会や会長会を通じて情報を共有し、互いの立場を理解し協力する体制を築くことが求められます。

成功事例を持つ市町村の取り組みを共有することで、全市町村で連携体制を確立し、家庭全体を見守り支援することを目指します。

３　課題と期待（左ページ上中段）

①主任児童委員の役割と連携強化

開催後に期待すること: 各分科会の活動情報を共有し、主任児童委員の立場や役割を再確認。市町村会長とも情報を共有し、全市町村で連携強化を図る。

②コロナ禍での研修不足解消

開催後に期待すること: 役割再確認のための勉強会開催により、経験の浅い委員もベテラン委員も役割を再確認し、活動に反映する。

③市町村会長との共通認識深化

開催後に期待すること: 市町村会長同席のもと、共通認識を深めることで、市町村での活動に効果的に反映させる。

④定例会での課題共有と相互理解

開催後に期待すること: 定例会での課題共有を通じて、互いの理解を深め、連携を強化し、共同行動の機会を増やす。

⑤関係機関との連携強化

開催後に期待すること: 各市町村、各委員の地域において、関係機関との新たな協力体制を築き、手厚い子ども支援を提供する。

⑥活動の偏り是正

開催後に期待すること: 児童委員としての意識向上を図り、多方面から問題のある家庭に寄り添う体制を整える。地域の特性や環境を生かし、民生委員・児童委員と協力して円滑な活動を目指す。

４　結果について（左ページ下段）

今回の研修会グループワークを行ないました。９月５日の県大会の部会発表にて、そこで挙がった情報や意見について紹介したいと思います。

各市町村での連携・支援体制強化の一助となれるよう、引き続き部会において協議・発信に努めてまいります。